



つ ま ま  
都 万 麻

平成30年9月20日  
学校だより第250号  
高岡市立太田小学校



## 連携プレーで育てたい子供の品格

校長 新保満夫

夏休みは、家庭や地域でいろいろな体験活動を仕込んでいただき、ありがとうございました。学校に戻ってきた子供たちは、学年によって多少の差はあるものの、身体も心も少し成長したように感じています。記録的な猛暑の中、プール当番や親子ボランティア活動にご尽力いただいたPTA役員・保護者の皆様、雨晴音頭等の指導に時間を惜しまず汗を流してくださった布野富美子先生、また、夏休み中でも変わらぬ支援をいただいた学童保育や児童クラブの先生方には感謝の極みです。校区では、本校児童がいろいろな世代の皆様から「この上なく愛されている」ことがわかります。

このように、地域に愛されている児童一人一人を、「地域の外でも愛される一人一人」に育て上げることが、太田っ子に関わる大人に共通の目標ではないかと私は考えています。なぜならば、多くの人に愛されることは、これからの大変な時代を生き抜くのに必要な「生きる力の基盤」になると思うからです。

多くの人に愛されると言えば、全米オープンテニスで日本人初の快挙を成し遂げた大坂なおみ選手を思い浮かべる方は多いでしょう。世界中が感動したのは、試合および試合後の対応や応対に表れた大坂選手の「品格」の高さでした。それを「日本人の品格」とまで報道してくれた海外メディアもあります。どのような品格が評価されているのかは説明の必要はないと思います。ただ、近年は日本においてさえそれが薄れてきていると、皆様も感じておられるのではないのでしょうか。ともすれば、日本も「言った者勝ち」の国になりつつあるのが残念なところですが。ぜひとも、太田、いや日本の将来のためにも、太田っ子を、品格のある子供に育てておきたいものです。

しかしながら、子供の品格を高めるのは学校教育だけでは不可能で、地域の大人の**連携**（**係**）プレーが大切です。なぜならば、子供は、周りの大人をモデルとして自己の品格を形成していくからです。全米オープン決勝でとったセリーナ・ウィリアムズ選手の振る舞いの是非を語る資格は私にはありませんが、「私も現役時代に何度も自分のラケットを粉々にしたいと思った。でも、その時は子供たちが見ていると考えた。そうすることで、渋々でもラケットを収めていた（THE ANSWER 9/11 14:41 Web配信より引用）」と語ったかつての女子テニス界の女王、マルチナ・ナブラチロワ氏の言葉には共感できるものがあります。

# 「すてきッズ」コーナー

・やさしく  
・かしこく  
・たくましく



## 日の出会 (7/21)

朝日を拝んでゴミを拾いました。



## 3年親子活動 (7/22)

四季防災館を見学しました。



## 5・6年立山登山 (7/27・28)

初日の室堂での気分は最高でした。



## 3年ふるさとまつり (8/4) ・ 太田の歴史と文化を語る会in武田家 (8/25)

布野先生のご指導のもと、頑張りました。楽しんでいただけたでしょうか。



## PTA親子活動 (8/26)

全校児童・保護者の皆様が、グラウンドの除草、校舎の窓拭き、廊下・階段の汚れ取りからワックスがけまで、とてもきれいにしてくださいました。太田小への愛着と愛情が伺えます。



## 防災給食体験 (8/31)

防災カレーを体験しました。



## 4年交通安全活動 (9/3)

交通安全、ご協力願います！



## 歌声タイム (9/5)

毎週のこの時間を楽しんでいます。



## 合同避難訓練 (9/5)

太田保育園と津波避難訓練



## 高岡市連合運動会 (9/6)

6年生が練習の成果を試してきました。



## 創校記念式 (9/14)

145 回目の学校の誕生を祝いました。

## 受賞の記録



〈第65回高岡市小・中学校科学展覧会〉 優秀賞 吉本万里子「まぜまぜスライム大実験」

〈第97回高岡市小学校連合運動会〉

100m走 1等 小林藍衣、山田亜津子

2等 一川璃空、早木栞那

60mハダヒ 1等 一川璃空、小林藍衣、早木栞那

2等 山田亜津子、吉田紗都

3等 一川琉里亜

おめでとうございます！